



日本におけるレプティリアン陰謀論受容とその役割：
太田竜から神真都Q まで

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-04-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 齊藤, 竹善 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24729/00017978

◇研究ノート◇

日本におけるレプティリアン陰謀論受容とその役割

—太田竜から神真都Qまで—

齊藤竹善

◆要旨

「レプティリアン陰謀論」は、世界の上層部が爬虫類型の宇宙人によって支配されていると主張する陰謀論である。これは、デーヴィッド・アイクによって体系化された陰謀論で、太田竜によって日本にも導入されていったものである。この陰謀論では、アイク、太田共にレプティリアンの実在を本質的な問題とせず、その存在が仮設された上で論が構築されていた。だが、その理論を導入した日本の反ワクチン団体である神真都Qは、レプティリアンを「松ヤニ」で退治するという独自の実践を行っていた。本論では、日本においてレプティリアン陰謀論がどのように受容され、どのような役割を果たしていったかを論じた後、最新の事例である神真都Qについて、理論と実践という二つの側面から論じていく。

まず、日本におけるレプティリアン陰謀論の受容史を検討する。ここでは、日本の論者たちのレプティリアン陰謀論受容において、天皇制との関わりから、レプティリアン陰謀論が恣意的に編纂されていったことを明らかにする。具体的には、天皇をレプティリアンに対立する「ドラコニアン」として措定することによって、陰謀論が民族主義を肯定する、より単純でわかりやすい二元論に移り変わったといえる。

そして、神真都Qもこのタイプの陰謀論を参照しており、理論という側面においてナショナリズムを強化している事がいえる。また、実践という側面では、デモに参加した人物を判別する「松ヤニチェック」や、「警察官に化けたレプティリアンを松ヤニで撃退する」といった実践が行われていた。これらの実践は共に、敵であるレプティリアンを排除するもので、「神真都Q」という集団アイデンティティを強化する役割があり、この陰謀論によって行動の過激化が生じたと考えられる。

キーワード：レプティリアン、陰謀論、スピリチュアル、太田竜、神真都Q

はじめに

近年、Qanonと呼ばれる極右陰謀論言説が、アメリカを中心とするインターネット上で蔓延している。Qanonは、「世界の政財界やマスコミにはびこる悪魔崇拝の小児性加害者に対して、トランプ大統領は秘密の戦争を繰り広げている^(註1)」という主張を行う陰謀論であり、これは2017年から徐々に広まり始めた。2021年アメリカ合衆国議会議事堂襲撃事件は、その背景にこのQanon言説があったことが知られており、信奉者たちの先鋭化が危険視されている。

そのような状況下で、必然としてQanonに関わる陰謀論研究が行われ始めている。例えば、Qanonと、Qanonが動機となった暴力事件について論じたAmarasingam and Argentino (2020)^(註2)や、COVID-19流行下におけるQanonをはじめとする陰謀論言説について

研究したBodner, Wendy and Ian (2020)^(註3)が存在する。

そして、陰謀論の流行は日本においても生じている。日本でもQanonは信奉されており、日本における信奉者はJanon (Jアノン) と呼ばれる^(註4)。このJanonを中心に、新型コロナウイルス流行に伴い、人々の不安と共に反ワクチン言説が流行してしている。そのような状況を反映して、青土社『現代思想』において『陰謀論』という特集が行われるなど、陰謀論に関する関心が学術的にも高まっている^(註5)。

Janonと呼ばれる人々も一枚岩ではなく、様々な主義主張の人々が存在しているが、その中に神真都Q (やまとQ) と呼ばれる、陰謀論を信奉する団体が存在する。これは、2021年後半に形成され、同年12月26日に行われた「神真都覚醒」宣言によって「神真都Q」として正式に発足した団体である。神真都Qは、Qanon陰謀論を中心に信奉しながら、過激な反ワクチン言説や、スピリチュアル系の諸言説などを融合させた主張を行ってい

る^(註6)。

神真都Qの信奉者は、「日本人は、悪い宇宙人とその手先であるディーブ・ステート（影の政府）に操られた世界の人々を覚醒させる使命を持っている。なぜなら大和民族は善い宇宙人と龍神の遺伝子を受け継ぐ末裔だからだ」というような、「日本独自のオカルト的な民族主義」を主張している^(註7)。この神真都Qの特徴としては、様々な陰謀論をパッチワーク的につなぎ合わせ、世界を徹底して「光」と「闇」の側に分けるような思考体系を作り上げている点にある。彼らは、トランプ元大統領率いる光の戦士であって、闇の巨大政府である「ディーブ・ステート」と戦う使命を持っているのだという。ここにおいては『シオン賢者の議定書』以来の古典的な反ユダヤ主義陰謀論や、反ワクチン陰謀論、爬虫類人類（レプティリアン）陰謀論などの陰謀論言説がネットワーク的に結びつけられ、壮大な世界観が展開されている。

また、彼らは「闇の勢力に支配された世界の人々を覚醒させる使命を負っている」と考えており、2022年1月から反ワクチンデモを日本各地で行っている。更には、ワクチン接種会場となった東京ドームを襲撃し、「殺人行為だ」などと騒ぎ立て、接種者たちの入場を妨害したとされる。そして、神真都Qのリーダー格である岡本一兵衛こと倉岡宏行も逮捕されるに至っている^(註8)。

この神真都Qの内部である奇妙な主張が為されている。それは、爬虫類型宇宙人である「レプティリアン」は「松ヤニ」で撃退できる、というものである。恐るべきことに、彼らは「警察官は爬虫類型の宇宙人が化けたもので、実は「松ヤニ」に弱い。だから、松ヤニを持ち歩いて嗅がせれば撃退できる^(註9)」という奇妙な主張を大真面目にしているのである。

爬虫類型宇宙人によって世界が支配されていると主張するレプティリアン陰謀論はデーヴィッド・アイクをはじめとする西洋のスピリチュアル系陰謀論者たちによって醸成された陰謀論なのだが、神真都Q以前の陰謀論においてはこのような「松ヤニ」でレプティリアンを撃退できるという設定は存在しなかった。「松ヤニ」の設定はおそらく神真都Q独自のものと思われる。しかし、なぜレプティリアン陰謀論を導入した神真都Qではレプティリアンの弱点が「松ヤニ」である、という設定が必要とされたのだろうか。馬鹿げたことのように思えるが、陰謀論は現に驚異的な存在となっている。その生成と受容という観点から解き明かす必要があるだろう。

本論では、日本においてレプティリアン陰謀論がどのように受容され、どのような役割を果たしていったかを論じた後、その受容の最新の事例である神真都Qについて、理論と実践という二つの側面から論じていく。理論という側面からは、神真都Qをレプティリアン陰謀論の受容史の延長に位置付け、その理論がどのような意図で

神真都Qに導入されたかを検討する。実践という側面からは、「松ヤニ」を用いた独自の実践に注目する。

後に改めて確認するが、レプティリアン陰謀論において重要な論者であるアイクと、太田竜は共に、レプティリアン陰謀論を唱える際、あくまでレプティリアンの存在を仮説として提唱した上で、理論を構築していた。レプティリアン陰謀論は、政治的な意図を持ちながらも、理論構築の範疇に留まっており、少なくとも日本においては、本格的な社会運動における実践には至ってはいなかったのである。ところが、神真都Qのレプティリアン陰謀論による社会運動ではレプティリアンを実在するものと見做したうえで、「松ヤニ」を用いた実践が行われている。陰謀論の生成変化のプロセスの一事例として、神真都Qの思想と実践の独自性に注目し、どのようにして形成され、そして神真都Qの中でどのような役割を担っているか考察を行っていく。

1. アイクと太田竜 －初期レプティリアン陰謀論－

神真都Qにおけるレプティリアン陰謀論を検討する前に、まずは神真都Q以前のレプティリアン陰謀論がどのようなものだったかを確認する。そこで本章では、初期レプティリアン陰謀論において重要な論者であるデーヴィッド・アイクと太田竜^(註10)について詳細に分析している栗田英彦の諸論^(註11)に依拠しながら、両者の思想について概要を示す。イギリスの著述家であるアイクは、もともとはイングランド・ウェールズ緑の党のスポークスマンとして、環境運動に身を投じていたが、後にニューエイジ系のスピリチュアル思想に傾倒していき、陰謀論に関連する著作を次々と著すようになっていった人物である。そのアイクの中心的な思想が爬虫類型宇宙人に関する陰謀論である「レプティリアン陰謀論」である。

アイクのレプティリアン陰謀論は、『大いなる秘密』（1999年）によって体系化された。ここでは、栗田による『大いなる秘密』におけるアイクの思想の要約を引用したい。

人類および人類の文明は、竜座から到来し、地球内部の空洞に棲み、低層四次元にたゆたうレプティリアン－古代には「神々」と呼ばれた－によって地球を開発・支配するために構築された。レプティリアン純血種は人類に「変身^{シェイプ・シフト}」し、人類と交配してレプティリアン交配種を生み出す。交配種の見目は人間だが、純血種に「憑依^{オーバーシャドウ}」されて意のままに操られ、支配者階級を構成する。支配者階級は、メディア・政治・軍事・経済・医療を使って人類の思考と感情をコントロールし、人間の能力をスポイ

ルして圧倒的多数の「羊人」^{シーブル}を生み出す。レプティリアンは、人間の恐れ、敵意、罪悪感といったネガティブな感情エネルギーを糧としていて、そのため戦争・大量虐殺・性的墮落を助長する。フリーメイソン、イルミナティ、ロスチャイルド、ロックフェラー、三極委員会、外交問題評議会、ビルダーバーグ会議などの各種陰謀論のアクターがレプティリアンの支配下であり、イギリス王室など各国王室やブッシュ父子やクリントン夫妻などのアメリカの政治指導者らを、レプティリアン純血種や交配種だと名指しする。^(註12)

アイクによれば、ありとあらゆる支配階級はレプティリアンと関係する血統にあり、我々はその支配下にあるとされる。ただし、世界を支配する爬虫類型宇宙人というアイデアそのものは、アイクのオリジナルのものではない。マイケル・バーカンによると、「レプティリアン」という表象は、ロバート・E・ハワードなどの作家による、変身する蛇族という概念を用いたパルプ小説や、それを吸収した神智学系グルのモーリス・ドリールの著作に由来しているという^(註13)。これらの著作においては、人間と敵対する蛇人間という表象が描かれており、アイクの陰謀論のアイデアが既に出来上がっている。

アイクの陰謀論における「レプティリアン/人間」という対立構造は、一見すると「支配/被支配」の二項対立のように見える。栗田が指摘するように、アイクはその二項対立を、レプティリアンを愛することによって乗り越えようとしていたのだが、日本においては「愛」による乗り越えという思想的実践はあまり汲み取られずにその二項対立の側面を中心に受容されていく^(註14)。

日本にアイクのレプティリアン陰謀論を導入した代表的な人物は、太田竜(1930-2009)である。太田は、終戦直後に日本共産党に入党し、1950年代に日本で最初のトロツキストとなった人物である。彼は、60年代後半にアナキスト的な「辺境」革命論の立場から、在日朝鮮人、アイヌ問題、沖縄問題、エコロジー運動へ積極的に取り組んでいき、その後、「日本原住民論」という偽史運動を進め、90年代以降にユダヤ陰謀論や、レプティリアン陰謀論を主張し始め、最終的に「日本民族」の優秀性と独自性を説く極右的主張に行きついた^(註15)。

栗田によれば、太田の極右的主張は太田なりの革命理論に基づくものであるという。『世界革命』(1967年)は、〈帝国/辺境〉という二項対立の弁証法を主張する革命論であるが、この二項対立は後にユダヤ陰謀論や偽史運動へ結びつき、〈帝国=イルミナティ/辺境=日本原住民〉という二項対立へ行きつく。つまり太田は、「革命理論として陰謀論と日本民族論を唱えている^(註16)」というわけである。このような文脈を踏まえると、太田がレ

プティリアン陰謀論を導入した理由は、〈西洋近代文明/縄文日本文明〉という二項対立の強化にあると考えられる。

『大いなる秘密』において、アイクは日本についてはあまり言及しておらず、その紙幅の多くを、レプティリアンという観点から西洋史を再構築することに費やしている。そのため、日本史に関しては、『大いなる秘密』が記していない間隙の部分であり、アイクの陰謀論を導入し、レプティリアン陰謀論的な日本史を構築することは難しくはなかっただろう。そうして太田は、レプティリアン陰謀論を導入することによって、「西洋文明」を「非人間的」で、冷徹なものであるレプティリアンとして描写し、〈西洋近代文明/縄文日本文明〉という対立構造を強化していったのである。

2. 天皇制はレプティリアンののか？

アイクの世界観に従うと、ありとあらゆる血統的な権威というものはレプティリアン的なものに回収されてしまう筈で、天皇制とレプティリアンという観点において、太田の「日本原住民論」は相性が悪い。というのも、太田の思想において天皇制は、神武天皇以降続いてきた縄文文明由来の制度であって、決してレプティリアンの(西洋的)なものであってはならないからである。

しかしアイクは、レプティリアン系由来の「神の子」の名を列挙する際、「ヒンドスタンのクリシュナ」、「インドのブッダ」、「エジプトのオシリス」…などと共に、「日本のミカド」を挙げている^(註17)。つまり、アイクによれば日本の皇族は「レプティリアン」の血統なのである。太田はこれに対し、「根拠が示されておらず疑問がある」として、「ミカド」をレプティリアンの系統とするアイクの主張を退ける^(註18)。太田によれば、「数十万年以来、日本列島原住民は、日本固有の、そして地球原住民すべてが生きうる文明を産み育ててきたのであって、爬虫類型異星人の介入はまったくなかった。もしくはあったとしてもごく微々たるものであった^(註19)」のである。太田の思想においては、レプティリアンはあくまで「西洋文明的な存在」として措定される。レプティリアン陰謀論を導入した上で縄文日本文明を肯定するためには、日本文明が西洋的なもの=レプティリアンと無縁であることを主張しなければならないので、西洋文明が介入した明治天皇以前の天皇をレプティリアン的な存在として見做してはならない。

アイクと太田は、2008年にレプティリアン陰謀論について対談を行ったことがある。その際、天皇制をめぐる二人の解答は、彼らの立場の相違を明確に示すものである。以下にアイクとインタビューアーの応答を引用する。

–世界中の、古代からの支配者すべてにはレプティリアンの血が流れているというふうに言われましたが、古代から続く日本の天皇家にも、レプティリアンの血が入っているのか、いないのか。その辺はどうでしょうか？

アイク 全員とは言いませんけれど、レプティリアンの血を持っている人たちもいるのではないのでしょうか。かつて皇室に反対勢力として入ってきた一族も、何らレプティリアンの血を受け継いでいない者たちは、結局皇統としては、消滅させられたのではないのでしょうか。ともあれDNAやら血統やらによって主権が握られ継続させられるという発想、それ自体が極めてレプティリアン的だと思うのです。(…) その遺伝子の中にレプティリアンのものがなかったとしても、この形状自体がもう既にレプティリアンになっているのです。^(註20)

このように、アイクの主張は血統主義的な権威＝レプティリアンという主張であるが、一方、太田の場合は以下のように答えている。

–それでは太田さん、天皇の万世一系、そこにはレプティリアン的なものがあつたのか、ないのか。日本は全然無縁だったのか、どうでしょう。

太田 万世一系という用語が、問答無用のドグマとして日本中に行き渡ったのは明治以降です。^(註21)

ここでは、「あつたのか、ないのか」という質問に対して直接的な回答は行われていない。太田は、万世一系という用語がドグマとして明治以降に広まった、ということだけを述べており、これ以上は言及していないが、ここで太田が言わんとしていることは、明治以降に天皇は「レプティリアン的」になったということである。太田は、「明治天皇すり替え説」を導入しており、明治以降に縄文文明由来の天皇の皇統が断絶させられていると考えている^(註22)。つまり太田にとって、「万世一系」というのは、明治以降に西洋化し、断絶してしまった天皇制イデオロギーを、西洋によって支配された政府が正当化するために用いるドグマなのである。

こうして、太田は天皇制を明治天皇以前/以後に分断し、明治天皇以前を西洋と無縁の縄文由来の皇統と定め、以後を西洋文明に侵されたレプティリアン的なものと見做すことによってレプティリアン陰謀論の受容を可能にした。もちろん、「レプティリアン」の实在が前提されていたらこのような概念の操作は不可能だろう。そもそも、アイクは「仮にレプティリアンが存在しなかったとしても、われわれは彼らを生み出していたらろう^(註23)」と、レプティリアンが存在しない可能性を仄め

かしており、太田も同様に、レプティリアンの实在を本質的な問題とせず、歴史を理解するための仮説として、理論を構築するために利用していたのである^(註24)。

このように、太田においては、レプティリアンの实在性は重要な問題とはされず、自身の理論を強化する方向へ陰謀論を編纂する形で論じられていた。しかし、太田のレプティリアン陰謀論受容の方法にはいくつかの問題点があるだろう。まず、皇室がユダヤ系によって支配されているという陰謀論言説を前提にしなければ成り立たない点である。このような陰謀論言説は、現皇室に対し肯定的な立場を取る人々にとって非常に都合が悪いものであり、相容れない。また、アイクの言うように血統主義そのものを「レプティリアン的」と定めると、必然として明治天皇以前の天皇もまたレプティリアン的なものになってしまう。太田のような思想を持つならともかくとして、天皇制イデオロギーを肯定しつつレプティリアン陰謀論を導入することは可能なのだろうか。他の論者達がどのようにレプティリアン陰謀論を受容したか見ていきたい。

3. 様々なレプティリアン陰謀論受容 —ドラコニアンとレプティリアン—

本章では、神真都Q以前の日本のスピリチュアル系の論者達が、如何にレプティリアン陰謀論を受容したかを通時的に概観していき、どのような変容が生じたかを検討していく。

レプティリアン陰謀論が受容されるにあたっては、それ以前に存在するスピリチュアル思想とパッチワークを行う形でレプティリアン陰謀論が都度再解釈される。例えば、狭依彦『霊界物語の「竜」と「爬虫類人」 邪神＝レプティリアンの地球支配と改造の経緯書』(2008)は、書名からわかる通り、新宗教である大本の教祖、出口王仁三郎の著作『霊界物語』をベースにしたもので、王仁三郎の思想とアイクの思想を比較検討したり、レプティリアン陰謀論をもとに『霊界物語』を解釈したりするものである。そのため、「レプティリアン陰謀論」としての独自性は薄く、どちらかという『霊界物語』の研究書という位置付けになる。

コンノケンイチ『天孫降臨/日本古代史の闇：神武の驚くべき正体』は、偽書とされる『先代旧事本紀大成経』において神武天皇が龍のような姿で描写されていることを論拠に、天皇家が「蛇」(龍)の系譜であることを述べる著作である。コンノはそこから、蛇(龍)＝レプティリアンとして、アイクの陰謀論を補助的に導入している。この本は天皇制に対して反対する立場から書かれているため、アイクの陰謀論を導入するにしても問題なく導入することを可能にしており、「レプティリアン陰

謀論」としては、アイクや太田の思想を逸していない。ただし、神武天皇の段階から天皇が龍=レプティリアンであった事を述べており、その点において縄文文明の血統の天皇を肯定する太田の議論とは異なる。どちらかというといくの立場に近いと言えるだろう。

浅川嘉富『龍蛇族直系の日本人よ！その超潜在パワーのすべてを解き放て』（2011）は、「人類が龍蛇族系のプレアデス人やシリウス人といった宇宙人によって創造された^(註25)」という説に基づいて著されている。浅川は、『小桜姫物語』や『日月神事』、『先代旧事本紀大成経』などのオカルト・スピリチュアル系の書物を元に、天皇は龍神である、という考えを展開し、「代々の天皇は宇宙の龍蛇族であるプレアデス人やシリウス人のDNAを色濃く残しており、また我々日本人も同様にそのDNAを何らかの形で引き継いでいる^(註26)」と述べる。こうして浅川は、日本人を龍蛇族直系の民族とすることによって血統的な正統性を唱え、人々に次元の上昇であるアセンションの可能性を提起するのである。

ここで浅川は、龍蛇族=レプティリアンを邪悪だとするアイクに苦言を呈している。浅川によればアイクの思想は、「レプティリアンに対する恐怖心を強調し過ぎている」のであって、「地球の創成期に人類を誕生させたレプティリアンは決して邪悪な存在などではなく、^{クニノトコタチノミコト}国常立尊をトップとする聖なる龍神系宇宙人たちであった」のだという^(註27)。そのため、浅川は、アイクのレプティリアンに相当する存在を「悪質な宇宙人」や「闇の勢力」という言葉で言い換えている。浅川はあまり二項対立的な図式を強調している訳ではないが、ここには「聖なる龍蛇族vs悪質な宇宙人、闇の勢力」という図式が存在していると言えよう。浅川は、アイクのレプティ

リアン陰謀論におけるレプティリアン=龍蛇族の位置付けを批判し、天皇制=レプティリアンを肯定し、日本民族を重視する精神的ナショナリズムを確立しようとしている。

この浅川の龍蛇族論以降から、日本のレプティリアン陰謀論は天皇制との関わりにおいて大きく独自性を獲得していく。その独自性を読み解くキーワードは「ドラコニアン」である。「ドラコ」は、アイクのレプティリアン陰謀論においても用いられた言葉であるが、これは「レプティリアン」とほとんど同義であった^(註28)。

しかし、2012年頃から「ドラコニアン」がレプティリアンと対立関係にある、と考えるレプティリアン陰謀論の新たな形態が見られだす。この考えの初出は判然としないが、書籍化されたテキストの上では中丸薫、竹本良『UFO五次元東京会議』に確認できる。ここで竹本は、レギュラー出演している「Ustream^(註29)」の番組の中で「天皇陛下の源流が、「ドラコニアン」で、「初代天皇である神武天皇の身長が315メートルもあり、鱗があって、さらに角が2つあった」という話題があったのだと述べている^(註30)。これは竹本以前の日本のレプティリアン陰謀論においても何度も引用されている『先代旧事本紀大成経』からの引用である。

そして竹本は、「僕としては、皇室家はレプティリアンではなく、ドラコニアンなんじゃないかなと思う」と述べ、そこから「ドラコニアンとレプティリアンというのは、お互いにずっと戦い続けて」いて、「正義の立場で発言するのがドラコニアンの側なのでは」という考えを展開する^(註31)。こうして、天皇=龍=ドラコニアンという連想から、天皇を正義の側と置き、悪のレプティリアンと戦う存在として措定する図式が竹本の思いつきによって完成する。

その後、この図式を引き継いだ陰謀論言説が生じてくる。高山長房『人類への警告 [I] 日本人はドラコニアン《YAP (-) 遺伝子》直系! だから、[超削減]させられる』をはじめとする一連の著作である。この本では、そのタイトルからわかる通り、皇室家や日本人はドラコニアンの遺伝子である「YAP (-) 遺伝子」を引き継いでおり、レプティリアン達と戦う使命を持っている、という思想が展開されている。高山によれば、「レプティリアン・イルミナティは、ドラコニアン・イルミナティである日本の皇族を全滅させようと虎視眈々と狙って^(註32)」いるのだという。恐らく高山は、竹本が述べていたドラコニアン言説に影響を受けてこの思想を展開しているのだろう^(註33)。

ただし、高山のレプティリアンと天皇についての記述は、整合性が取れない部分が多い。ある部分では「皇室家はドラコニアンの血を引いており、奴ら（レプティリアン）の思うようには操ることはできません!^(註34)」と

表 レプティリアンを扱った主な著作

年代	タイトル
1999年	太田龍『地球の支配者は爬虫類人的異星人である』
2000年	太田龍訳、デーヴィッド・アイク『大いなる秘密』
2008年5月	狭依彦『霊界物語の「竜」と「爬虫類人」邪神=レプティリアンの地球支配と改造の経緯書』
2008年12月	コンノケンイチ『天孫降臨/日本古代史の闇: 神武の驚くべき正体』
2011年4月	浅川嘉富『龍蛇族直系の日本人よ！その超潜在パワーのすべてを解き放て』
2011年6月	大川隆法『レプタリアンの逆襲 I 地球の侵略者が守護神か』
2011年11月	中丸薫、竹本良『UFO五次元東京会議』
2012年	高山長房『人類への警告 [I] 日本人はドラコニアン《YAP (-) 遺伝子》直系! だから、[超削減]させられる』

言いながらも、ある部分では明治天皇すり替え説を導入し、「孝明天皇も彼を暗殺した伊藤博文も、孝明の息子陸仁に伊藤博文がすり替えた明治天皇こと大室寅之助もレプティリアンでした！」や、「現皇太子〇仁（原文ママ）もレプティリアン」だと述べている^(註35)。明治天皇以降の皇室がレプティリアンに支配されているのであれば、ドラコニアンを引いている「天皇家」というのは一体何のことになるのか、判然としない。著者の高山は、「第59代宇多天皇家35世代」を自称しているのも、もしかすると自身を天皇の血を引くドラコニアンとして正統化しているのかもしれない。

浅川の「聖なる龍蛇系宇宙人」や、竹本、高山の「ドラコニアン」などを日本民族と同一視するナショナリズム言説は、アイクの手を離れて独自に発展してしまっている。ここでは、「ドラコニアン」の意義がアイクの思想から離れており、アイクの言うようなレプティリアンに対する「愛」による二項対立の解決などは図られることはない。アイクのレプティリアン陰謀論は、本来否定される筈の血統主義的な天皇制を肯定する形に変形されながら、ナショナリズムを強化する言説として編纂されていったのである。

実際に、「レプティリアン/ドラコニアン」の対立という日本独自の図式はかなり浸透しているらしい。例えば、Twitter上のフォロワーが、24万人近くいる「巫」という人物が書くウェブ上の記事でも踏襲されており、多くの陰謀論関係の情報網において共有されている^(註36)。ドラコニアンをレプティリアンに対立する存在と見做す言説は、かなり影響力を持っていると言えよう。

そして、このような言説が実際の政治的实践に利用されていく。それを行ったのが、反ワクチン団体である神真都Qである。次章では、神真都Qにおけるレプティリアン陰謀論の理論的受容とその実践を見ていく。

4. 神真都Qとレプティリアン —松ヤニで逃げるレプティリアン—

本章では、神真都Qにおけるレプティリアン陰謀論の役割を検討していく。検討にあたっては、執筆時点において神真都Qに関する学術的な研究論文などが著されていないことから、アクセス可能なサイトの情報や、陰謀論の観察やフィールドワークを行っている記者による記事や、Twitter上において在野の人々によって報告された事例を参照する。まずは、理論という側面から考察するために、神真都Qにおけるレプティリアン陰謀論の理論と、先ほどまで述べてきたレプティリアン陰謀論の受容史との関係を検討する。

神真都Qにおけるレプティリアン陰謀論は、概ね竹本・高山以降の「ドラコニアンvsレプティリアン」と

いう構図に則っている。つまり、受容史の延長として捉える事が自然であると考えられるが、神真都Qの場合それを少し変わった形で導入している。

神真都Qにおいては、明治天皇すり替え説が導入されており、現在の天皇はレプティリアン側が操る偽物の「闇天皇」であると考えられている。そのため、神真都Qの信奉者らは本来の光の天皇である「龍神天王」を信仰している^(註37)。この「龍神天王」は、「龍神」であって、日本民族に龍神の遺伝子である「yap 遺伝子」を遺しており、縄文民族の子孫である神真都Qの信奉者たちは、その遺伝子を受け継いでいると考えられている。そして彼らは、闇の政府である「ディープ・ステート」と、その構成員のレプティリアンや「ゴム人間^(註38)」たちと戦う使命のために、反ワクチンデモを起こしているのである。

ここでは、明治天皇すり替え説や、「ドラコニアン」の設定を導入することによって、現皇室の権威を「闇」と見做し、解体すると同時に、「龍神天王」という天皇に代わる信奉対象を巧く構築していることがわかる。現皇室の権威を解体すると同時に、皇室に代替する信奉対象を立てることによって、ナショナリズムを維持することを可能にしているのである。また、日本人をレプティリアン達によって支配されている存在として位置付ける点からは、被害者感情を惹起させ、当人たちの運動の加害性を薄れさせる効果があると言える。

こうして、レプティリアン陰謀論は、「日本人は、悪い宇宙人とその手先であるディープ・ステート（影の政府）に操られた世界の人々を覚醒させる使命を持っている。なぜなら大和民族は善い宇宙人と龍神の遺伝子を受け継ぐ末裔だからだ」というような荒唐無稽な主張を可能にするための物語として作用したと考えられる。神真都Qにおけるレプティリアン陰謀論の役割は、ナショナリズムの強化と政治運動への動機付けとしての物語の役割を負っているのだ。

次に実践という側面から神真都Qのレプティリアン



図1 神真都Qロゴマーク

陰謀論を検討する。「はじめに」で述べたように、神真都Qの実践において最も特徴的なものは、神真都Q内部において流れている「レプティリアンは松やにが苦手、松やにを見せると逃げる」という噂とそれを元にした実践である。神真都Qにおいては、警察官に向けて松ヤニをかざし、警察官＝レプティリアンを退治しようとしている実践が行われていたのである。この実践は、新型コロナウイルス流行禍において、神真都Qのメンバー達がファミリーレストランであるデニーズでマスクをせずに会合を行っていたため、通報され、やってきた警察官とのトラブルが生じた際に行われた。

このような「レプティリアン」と「松ヤニ」の関係は、明らかに神真都Q独自のものである。そもそも、アメリカで流布しているレプティリアン陰謀論においては「松ヤニ」は登場しない^(註39)上に、今までに見てきた書籍においても同様に松ヤニに関する言及は見られない。動画メディアによって一般に流布しているものを確認すると、「超次元ライブ100【レプティリアンの弱点!!】」という、レプティリアンの弱点を解説しているYouTube上の動画^(註40)があるが、ここでもレプティリアンの弱点は松ヤニであるという言及は行われていない。ここでの言及は、レプティリアンの支配社会の弱点は「文字」である、という文字文化による知識伝達によるレプティリアンへの抵抗可能性が中心である。仮に、レプティリアンの弱点が松ヤニであることがメジャーであるならば、レプティリアンの弱点を解説することを目的とするこの動画で多少は言及されているはずだろう。

では、何故神真都Qにおいてレプティリアンは松ヤニを弱点とすると言われているのだろうか。この「噂」は神真都Qの指導者の岡本一兵衛が流したものと思われ

る^(註41)が、このような「噂」の発生の理由と、その性質を検討するにあたって、類似する民間伝承の先例から考えていきたい。まず、「弱点によって撃退する」というモチーフから、典型的なものとして思い浮かぶのは、「口裂け女」の都市伝説であろう。

「口裂け女」は、「べっこう飴が好物なのでそれを与えて食べている間に逃げる」ことができる、「ポマードが苦手なのでその匂いを嗅がせる」と退治できるなどと噂される都市伝説である^(註42)。ここでの道具を用いた撃退のモチーフそれ自体は、「3枚のお札」などで用いられる古典的なモチーフを流用したものであると指摘されており^(註43)、これは脈々と受け継がれているモチーフではないだろうか。

口裂け女の最も早く確認できる記録の中には「ポマード」で退治できるというものはなく、このモチーフは「尾ひれ」としてついていったようである。つまり、リアリティを持った恐怖の対象としての「口裂け女」に対抗するために、子どもたちを中心として「ポマード」や「べっこうあめ」を用いることによって、その脅威を排除しようとする「尾ひれ」の噂が広まったのである。レプティリアンの場合も同様に考えると、神真都Qにおける脅威であるレプティリアンに対抗する必要があるので、弱点として「松ヤニ」が必要とされたのだと推測できよう。

先ほども述べた通り、旧来のレプティリアン陰謀論においては松ヤニのような弱点は設定されていなかった。神真都Qにおいてはじめてレプティリアンの弱点が設定された理由は恐らく、神真都Qの信奉者たちが現実世界における政治運動（反ワクチンデモ）に関わるようになり、レプティリアンがリアリティを獲得したからだと



図2 「ぬっ」と正体を現す蛇人間。
レプティリアンの変身（シェイプ・シフト）を思い起こさせる。
模図かずお「へび少女」



図3 「ケケケ」と笑う蛇人間。
模図かずお「へび少女」



図 4

松ヤニでのレプティリアンの追い出しを行っていた事がわかるツイート。

う。つまり、レプティリアン陰謀論が団体の理論として導入され、レプティリアンが政治運動の場において仮想の存在でなく、現実の存在となってしまったのである。

神真都Qの信奉者らの自意識は「光の戦士」なのであって、そのデモを監視したり、通報によってやってきたりする警察官達は権力の手先である「闇」の側のレプティリアン、もしくはレプティリアンとのハーフである「ハーフレブ」として解釈される。そうすると、かつての陰謀論においては空想の存在であった筈のレプティリアンは、彼らにとってリアリティのある存在として、脅威としてやってくる。ここで、神真都Qの信奉者達が、他者を「非人間」として扱っている点は重要である。つまり、「非人間的」な悪のレプティリアンであるから、レプティリアンを「倒してもよい」とされるのである。詳細は判然としないものの、松ヤニでの攻撃以外の事例としては、鹿児島で行われた神真都Qのデモで、デモ前の体操として、「ピコピコハンマー」での「レブ退治」が体操として行われていたようである^(註44)。

神真都Qにおいては、ハーフレブは恐ろしく強いものとして考えられており、「戦闘力は格闘技の世界チャンピオンくらい^(註45)」なのだという。「光の戦士」を脅かす存在が、それほどまでに強いならば、当然彼らには対処法が求められる。しかし、実際には警察官達を武力で倒すことは、一般市民である神真都Qの信奉者たちには困難である^(註46)。武力によって脅威を解決できないのであれば、脅威を解決するためには呪術的な手段を用いる必要がある、その結果、呪術的な道具として松ヤニが用いられることとなったと考えることができるだろう。

では、なぜ松ヤニなのかが問題であるが、これもまた民間伝承などのモチーフに起源を求めることが出来るであろう。例えば、「たのきゅう」^(註47)という民話類型において、蛇が「やに」を嫌う、という描写が存在しており、その中には「化け物」が「松やに」を嫌うという話が採集されている^(註48)。

ただし、弱点が「松やに」とされるものは非常に珍し

いケースである。「たのきゅう」型で退治される化け物は大蛇の化け物であり、大抵の場合、弱点は「やに」とされている。どうやら、蛇が「やに」を嫌うという俗信があったらしい^(註49)。この俗信を元に椋図かずおは、「蛇少女」という漫画において、蛇人間の苦手な「やに」をお守りとする、という描写を行っている。椋図かずお作品の中で蛇人間たちは、「やに」のにおいを嫌い、その匂いによってひどく苦しむ。この作品における蛇人間たちは普段、人間の姿をしているが、夜になると正体を現し、皮膚に鱗が現れ、蛇のような顔になるのである。

神真都Qにおけるレプティリアンや、ハーフレブの特徴としては、「網を被せると慌て始め、顔から鱗が出て「ケケケケ」とトカゲのような声を出し、正体を現す^(註50)」というものがある。椋図かずおの「へび少女」においても「ケケケ」と笑う描写があり(図2, 3)、神真都Qにおけるレプティリアンイメージの構成にあたっては、椋図かずお作品の影響が強いのもかもしれない。

神真都Qの信奉者達は、反ワクチン思想を持っており、ワクチンを「毒」と考えているのだが、その「毒ワクチン」を解毒するために、「松葉茶」が用いられることがある^(註51)。これらの情報を踏まえると、「蛇人間=レプティリアン」、「蛇人間の恐れるヤニ+ワクチンを解毒する松=松ヤニ」という連想の元、松ヤニが弱点となった可能性は十分に考えられる。

神真都Qが松ヤニを用いるのは警察官に対してだけではない。神真都Qの新宿デモ隊には、「松ヤニチェック」と呼ばれる儀礼が存在した。松ヤニチェックは、デモに参加する人物に対して行う絵踏みのような儀礼であり、松ヤニの中に指を突っ込んで貫くことによって「レプティリアン」かどうかを見分けるものである。これは「安全確保」のために行われるものとされ(図4参照)、もしレプティリアンが松ヤニのにおいを嗅いだりすると、「死にはしないが、飛んで逃げていく」のだという^(註52)。

神真都Qの信奉者が何故このような「松ヤニチェック」を行っているかという点、恐らくレプティリアンの設定によるものだろう。レプティリアンやハーフレブ達は、巧妙に人間に化けているので、目視ではなかなか区別がつかない。神真都Qの信奉者達は、松ヤニを用いなければ擬態したレプティリアン達を見分けることができないのである。そのため、弱点である「松ヤニ」を用いることによって、一般市民に化けているレプティリアン達を炙り出すことができる、と彼らは考えるわけである。

この点において、神真都Qがインターネット上のSNSを通じて形成されたコミュニティであることも考慮しなければならないだろう。彼らのアイデンティティは、反ワクチンという思想と、日本人という民族意識のみであり、視覚的には誰が神真都Qの信奉者で、誰がスパイで

あるかを見分けることが出来ない。彼らは反ワクチンデモに参加する際、マスクを外して参加するのだが、スパイのレプティリアンもマスクを外して参加しているかもしれないのだ。

こうして、神真都Qにおいて、松ヤニは視覚的に見分けられない「我々」と「レプティリアン達」を見分けるための儀礼的な道具として作用する。神真都Qにおける「光の戦士」と「闇の勢力」という区分を視覚的に見分けることは困難である。そのような状況下で、デモの参加者が「光の勢力」であることを保証するために、「松ヤニ」は機能したのである。殊更に警察官が「松ヤニ」によって攻撃されたのは、警察官が彼らの妨害や監視をすることに加え、権力の象徴であるその制服が彼らにとってレプティリアンである証拠となっており、簡単に見分けられたからだろう。

おわりに

以上、本論を通じて太田竜から神真都Qに至るまでのレプティリアン陰謀論の役割を検討していった。

レプティリアン陰謀論は、太田が日本に導入して以降、「日本原住民論」などと結びつき、ナショナリズムを強化する形式で利用されていった。その結果として、「ドラコニアン」と「天皇」を結びつける日本独自の形式の陰謀論へと発展していった。ここでは、本来矛盾するはずのレプティリアン陰謀論と天皇制を折衷させる試みが行われている。

そうして発展した陰謀論を導入した団体が、神真都Qであった。神真都Qにおけるレプティリアン陰謀論の役割としては、理論的な側面においては、権威主義の解体、被害者意識の発露、ナショナリズムの強化といった働きをする物語言説として作用していたと考えられる。これは神真都Q以前の陰謀論の流れを汲むものである。

また同時に、他者の非人間化を促すものであって、これによって攻撃的な実践を可能にしてしまっていた。イ

ンターネット上で形成された集団におけるアイデンティティを維持するための、「敵」としてレプティリアンという表象は利用され、レッテルとして用いられていたのである。

政治運動における実践では、「松ヤニ」による他者への攻撃が行われていた。「松ヤニ」は、物語言説から生じた彼らの「使命」を果たすための、暴力に代替する手段としての象徴的な道具として用いられていたと言える。このような攻撃的な方法を実行可能にしたのは、その理論的側面によって醸成された被害者意識や、他者の非人間化という要素が大きいだろう。

「松ヤニチェック」という実践では、自分たちが、レプティリアンやスパイではないことを保証しあうことによって、神真都Qという集団のアイデンティティを強化する側面があったと言える。

レプティリアン陰謀論はメジャーな陰謀論の一つなので、神真都Qの幹部が、上述したような作用を生じさせるために意図的に取り入れたとは考えにくい。また、他者がレプティリアンである、ということを神真都Qのメンバーの全員が信じている、ということはないだろう。

しかしながら、結果として他者を非人間化する陰謀論は、一部の信奉者の先鋭化を招き、攻撃的な行動を起こさせるに至ってしまった。他者の非人間化を引き起こす言説は、レプティリアン陰謀論に限らず、これからも再生産され続けるだろう。その一つ一つを我々は注視し続けなければならない。

本論ではレプティリアン陰謀論を含むスピリチュアル系陰謀論の流行の諸要因についてはあまり触れられなかった。新型コロナウイルスの流行と、それに伴う閉塞感や、緊急事態宣言と外出自粛、ワクチンそのものに対する忌避感など、様々な諸要因が考えられるものの、それが単なる陰謀論にとどまらず、スピリチュアル系の諸言説に人々が傾倒してしまう理由については、本論では論じることが出来なかった。これについては今後の課題としたい。

注

1. 「米議会襲撃 Qアノン陰謀論の信奉者や州議会議員など次々と起訴」, BBC NEWS, 2021年1月10日。https://www.bbc.com/japanese/55606934, (2022年8月26日最終閲覧。)
2. Amarasingam, Amarnath, and Marc-André Argentinio. "The QAnon conspiracy theory: A security threat in the making." *CTC Sentinel* 13.7 (2020) : 37-44.
3. Bodner, John, Wendy Welch, and Ian Brodie. *COVID-19 conspiracy theories: QAnon, 5G, the New World Order and other viral ideas*. McFarland, 2020.
4. 「危険なうそがもたらす社会」, NHK NEWS WEB, 2021年6月29日。https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210629/k10013108471000.html, (2022年5月31日最終閲覧。)

5. 『現代思想 特集「陰謀論」の時代』 vol.49-6, 青土社, 2021年。
6. 神真都Qについての詳細は以下を参照: 雨宮純「神真都Qとは何か」2022年1月20日, https://note.com/caffelover/n/n97b5ec8fa92b (2022年8月26日最終閲覧。) ちなみに、このようなニューエイジなどのスピリチュアルと陰謀論が融合したものはコンスピリチュアリティ (conspiratoriality) と呼ばれる。これは、陰謀論 (conspiracy theory) と (spiritual) を合成させた用語である。
7. 「反ワクチン団体「神真都Q」とは? 逮捕されたリーダーが接種会場「襲撃前」に語っていた一部始終」, 日刊ゲンダイDIGITAL, 2022年4月20日。https://www.nikkan-gendai.com/articles/view/life/304226, (2022年5月31日最終閲覧。)
8. 藤倉善郎「Qアノン支部を自称する「神真都Q」ワクチン会場「襲撃」で13人逮捕後、離脱者が続出」, yahooニュース,

- 2022年8月20日。https://news.yahoo.co.jp/articles/248bdbc2e9fb380762163b1dc8a7da58dfc1fdd8, (2022年8月21日閲覧)。
9. 青沼陽一郎「『神真都Q』事件で露見、陰謀論と反ワクチン運動はなぜ親和性が高いのか」『JBpress』, 日本ビジネスプレス, 2022年4月24日。https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/69879, (2022年8月8日最終閲覧)。
 10. 太田竜の本名は栗原登一である。本論が大きく依拠している栗田の論文では、使用期間の長さから「太田竜」表記に統一されているので、それに合わせている。
 11. 本章は以下の2つの論文に大きく依拠している。栗田英彦「革命理論としての陰謀論 陰謀論的スピリチュアリティにおける太田竜の問題系」『現代思想 特集「陰謀論」の時代』vol.49-6, 青土社, 2021年, 78-87頁。栗田英彦「マルクス主義的陰謀論の諸相 —デリダ・ジェイムソン・太田竜」, 怪異怪談研究会監修『怪異とナショナリズム』, 青弓社, 2021年, 200-223頁。
 12. 栗田英彦「マルクス主義的陰謀論の諸相 —デリダ・ジェイムソン・太田竜」, 怪異怪談研究会監修『怪異とナショナリズム』, 青弓社, 2021年, 206頁。
 13. マイケル・バーカン『現代アメリカの陰謀論』林和彦訳, 三文社, 2004年, 182-185頁。
 14. 栗田によれば、「アイクが究極的には脱構築的「愛」へと回収して否定的現実を曖昧にするのに対して、太田はどこまでも二項対立的な形象を維持しようとする」のだという(栗田「マルクス主義的陰謀論の諸相」, 215頁)。このような二項対立的な形象の維持は、太田以後のレプティリアン陰謀論においても行われている。
 15. 栗田英彦「革命理論としての陰謀論 陰謀論的スピリチュアリティにおける太田竜の問題系」『現代思想 特集「陰謀論」の時代』vol.49-6, 青土社, 2021年, 81頁。
 16. 同上, 85頁。
 17. デーヴィッド・アイク『大いなる秘密上 爬虫類人(レプティリアン)』太田龍訳, 三交社, 2000年, 238頁。
 18. 太田龍「監訳者まえがき」デーヴィッド・アイク『大いなる秘密上 爬虫類人』太田龍訳, 三交社, 2000年, 9頁。
 19. 同上, 10頁。
 20. 太田龍, デーヴィッド・アイク『2人だけが知っている世界の秘密』, 成甲書房, 2009年, 88頁。
 21. 同上, 93頁。
 22. 太田龍『長州の天皇征伐 日本の〈悲劇〉はすべてここから始まった』, 成甲書房, 2005年。
 23. デーヴィッド・アイク『大いなる秘密下 世界超黒幕』太田龍訳, 三交社, 2000年, 517頁。
 24. 太田龍・早見慶子「太田龍, 未来への遺言」『イチゼロ』第一号, 世界書院, 2010年, 67頁。
 25. 浅川嘉富『龍蛇族直系の日本人よ! その超潜在パワーのすべてを解き放て』, ヒカルランド, 2011年, 150頁。
 26. 浅川, 同上, 150頁。
 27. 浅川, 同上, 155頁。
 28. デーヴィッド・アイク『大いなる秘密上 爬虫類人(レプティリアン)』太田龍訳, 三交社, 2000年, 48頁。
 29. かつて存在したライブ配信サービス。2018年4月以降, 「IBM Video Streaming」に移行している。竹本が出演していたレギュラー番組の詳細はわからなかった。
 30. 中丸薫, 竹本良『UFO五次元東京会議』, 株式会社ヴォイス, 2011年, 96頁。
 31. 同上, 105-106頁。
 32. 高山長房『日本人はドラコニアン《YAP(一) 遺伝子》直系! だから, 「超削減」させられる』, ヒカルランド, 2012年, 72頁。
 33. というのも, 先に示した竹本の著作の発売日は2011年11月26日であり, 高山のブログの2011年11月29日の記事「イラン危機!」において初めて「ドラコニアン」のワードが登場しているからである。竹本の著作の発売直後にドラコニアンについて言及しているのである。
 34. 高山長房『ドラコニアンVSレプティリアン これが《吸血と食人》の超絶生態だ!』, ヒカルランド, 2013年, 68頁。括弧内は引用者による補足。
 35. 同上, 114頁。
 36. レプティリアンは「人類の支配をめぐって親和性の高いドラコニアンと対立しているとも言われている。/ちなみに, ドラコニアンは日本人の祖先である事もDNAレベルで証明済である」という言及が行われている。参照:「地球革命の予備知識レプティリアン/ドラコニアン/人間創造主:アメンナキ〜異星知的生命体情報(仮)〜」, 2021年, 3月1日。https://note.com/gesara/n/nb4c692ad65d6 (2022年8月21日最終閲覧)。また, アイクの時点では同義であった「ドラコニアン」と「レプティリアン」を対立する存在と見做すことによって度々混乱が生じていることも見受けられる。
 37. “龍神天王様”, 神真都Q, https://sites.google.com/view/yamatoq/%E5%90%84%E8%B3%87%E6%96%99/%E9%BE%8D%E7%A5%9E%E5%A4%A9%E7%8E%8B%E6%A7%98?authuser=0 (2022年8月25日最終閲覧)。
 38. 竹本良によると, 「レプティリアンのクローン技術で『ゴムニダ』と呼ばれるゴム人間も増えてきて」いるのだという。辛酸なめ子「正気かい?! トンデモ陰謀論を信じる男性「芸能界はゴム人間だらけ」」, 2021年, 12月8日。https://joshi-spa.jp/1127011/2 (2022年8月22日最終閲覧)。
 39. 先に引用したアイクの書籍の中には, そのような言及は少なくとも見られなかった。また, Twitter上で「Reptilian rosin」と検索したところ, 英語圏での神真都Qに関する言及が見られるのみで, やはり日本独自のものであることが伺える。
 40. 閲覧時点で11万回再生を超えており, 影響力があるものと思われる。超次元ライブ『迷宮からの脱出パラレルワールドを移行せよ!』ミナミアアシユータル, 「超次元ライブ100【レプティリアンの弱点!!】」, 2021年7月21日, https://www.youtube.com/watch?v=sQrv3XSOuus (2022年8月26日最終閲覧)
 41. 神真都Qの指導者(岡本一兵衛こと倉岡宏行)がYouTube上にアップロードした動画(削除済み)に対するTwitter上の言及より。ジャポニスタン [@japonistan], (2022年2月4日), [ハーフレプは網を被せると慌て始め, 顔から鱗が出て「ケケケケ」とトカゲのような声を出し, 正体を表す。そのため, 甲兄は車の中に常に網を常備している。ハーフレプの戦闘力は格闘技の世界チャンピオンくらい。でも松ヤニで倒せる。だそうです。] Retrieved from <https://twitter.com/japonistan/status/1489494880326123527?s=20&t=IHPg2ZhJjgs5JUMdoQ5uia>.
 42. 朝里樹『日本現代怪異辞典』笠間書院, 2018年, 129頁。
 43. 常光徹『学校の怪談 口承文芸の展開と諸相』ミネルヴァ書房, 2013, 41頁。
 44. 「3・06神真都Q鹿児島 全国一斉デモ タイムスケジュール」によると, 「心のデモ前体操として今回からDS退治(ディーブステート退治)・レプ退治をピコピコハンマーで行います。基本はお一人一ピコハンマーです」と記されている。「心のデモ前体操」というのが判然としないが, デモでの心持としてレプティリアン退治が志向されていたことがわかる。よめちゃん (●●●) [@moushindoide], (2022年, 3月5日),

[鹿児島神真都Qデモスケジュール

心のデモ前体操も見てみたいしみんなでピコピコハンマーで戦ってるのめっちゃ見たい

松ヤニ持てればレブ避けできる設定やのにわざわざ戦うの草 ほんで甲兄頑張って倒したはずのレブ激弱で草] Retrieved from <<https://twitter.com/moushindoide/status/1500078005007577089?s=20&t=uTOSborhUZ3esBJMDDfn1g>>.

45. 注41より。

46. もしかすると「格闘技の世界チャンピオンくらい強い」というのは、神真都Qの信奉者たちの武力行使を抑止するために作られた設定かもしれない。

47. 稲田浩二『日本昔話通観 28昔話タイプ・インデックス』663「たのきゅう」, 同朋社, 1988年, 503頁。

48. 以下のような民話。「たのきゅう兵衛という名の旅役者が芝居をして歩いていたが、父が病気との手紙を受け取り、急いで帰る途中、峠で日が暮れる。小屋に泊まろうとすると、ふしぎな者が現れ、お前は何かと聞いたので「たぬき」と答えると、化けられるかと尋ねる。たのきゅう兵衛は衣装を出して、侍と御姫さんに化けると、その者は感心し、お互いに恐ろしい物を尋ねあい、「金」「松やにと酒」と答える。つぎの日、村人にこのことを話すと、村人は松やにと酒を集めて、夜山に登り化け物退治をする。」稲田浩二『日本昔話通観 21徳島・香川』267「さぬきゅう」, 類話6, 同朋社, 1978年, 441-442頁。

49. 鈴木棠三『日本俗信辞典』「蛇」, 株式会社KADOKAWA, 2000年。

50. 注38と同様。

51. 「コロナワクチンのデトックス・松葉茶について」<https://kenkoburo-yukari.com/blog/health-enzyme/detox-vac/>,

(2022/6月1日最終閲覧。)

52. 松ヤニチェックを実施している男性による言及。Youtube動画, ブルーレット「神真都Q松ヤニで人間かレブティリアンかチェック」2022年6月12日, <https://www.youtube.com/watch?v=Rx3bhQw6OFc>

図版引用元一覧

図1:「神真都Q ファイル置き場」<https://sites.google.com/view/yamatoq/members-page/%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB%E7%BD%AE%E3%81%8D%E5%A0%B4%E3%83%AD%E3%82%B4%E7%AD%89?authuser=0>

(2022年8月25日最終閲覧。)

図2: 榎岡かずお「へび少女」(1968初出)『へび少女～榎岡かずお恐怖劇場～』角川書店, 2000年, 28頁。

図3: 榎岡かずお, 前掲書, 42頁。

図4: ♡みゆき♡[@JBQooHEvbivZlhf], (2022年, 2月28日). [新宿隊では、松ヤニ使うの日常だよ♡♡ 鞆に潜ませてる♡ デモの時も、参加申込書と引き換えに、松ヤニの中に指ぶっこんでもらってるよ♡♡ それで、ハーフレブの追い出ししてから、デモやってるよ♡ 今回で2度目だよー♡], Retrieved from <<https://twitter.com/JBQooHEvbivZlhf/status/1498109088848556032?s=20&t=MOQnvWtyXlgx8Sqr86fY9g>>.

謝辞 本稿の作成にあたっては、神真都Qのウォッチングをしていた方々の報告に大きく依拠しています。非常に感謝している旨、この場を借りて申し上げます。

(大阪公立大学大学院文学研究科大学院生)

【2022年8月26日受付/2022年11月4日受理 『都市文化研究』編集委員会】

The Acceptance of Reptilian Conspiracy Theories in Japan and Their Role: From Ryu Ota to Yamato Q

Chikuzen Saito

The Reptilian Conspiracy Theory is a conspiracy theory which claims that the upper echelons of the world are controlled by reptilian aliens. This conspiracy theory was systematized by David Icke and introduced to Japan by Ryu Ota. In the theory, both Icke and Ota did not consider the possibility of the existence of Reptilians as an essential issue, but built their theories on the assumption of their existence. However, the Japanese anti-vaccine group Yamato Q, which introduced the theory, had its own practice of exterminating Reptilians with 'pine resin'. After discussing how the Reptilian conspiracy theory was accepted and what role it played in Japan, this article discusses the latest example, Yamato Q, from two aspects: theory and practice.

First, the history of the reception of the Reptilian conspiracy theory in Japan will be examined. Here, I will show that in the reception of the conspiracy theory by Japanese theorists, it was arbitrarily compiled in relation to the Emperor System. Specifically, it can be said that by positing the Emperor as a 'Draconian' in opposition to the Reptilians, the conspiracy theory shifted to a simpler and more easily understood dualism that affirmed nationalism.

Yamato Q also refers to this type of conspiracy theory, and it can be said that it reinforces nationalism in terms of theory. On the practical side, there were practices such as 'pine resin checks' to identify who participated in the demonstrations, and 'repelling Reptilians disguised as police officers with pine resin'. Both of these practices eliminate enemy Reptilians and serve to reinforce the group identity of 'Yamato Q', and it is thought that this conspiracy theory led to the radicalization of their behaviors.

Keywords : Reptilian, Conspiracy theory, Spirituality, Ryu Ota, Yamato Q